

中北.com

地域教育情報紙

チュウホク ドット コム

中北教育事務所
地域教育支援スタッフ

TEL 0551-23-3046

FAX 0551-23-3013

no

4

中北の地域社会 (COMmunity)の心の交流 (COMmunication)をめざします

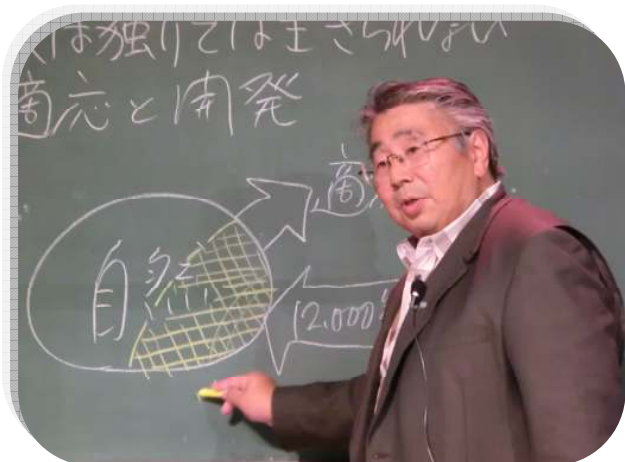
平成24年度 峡中・峡北地区合同 地域教育フォーラム 開催

平成24年度の峡中地区・峡北地区合同地域教育フォーラムが、10月30日(火)に日本航空学園内J-shipホールで開催されました。約500名の方々の御参加を得て、実践発表・講演を中心に展開されました。また、日本航空高校ダンスカンパニー(ダンス部)の御好意により、オープニングセレモニーとして、ミュージカルの一部が披露され、多くの参加者が魅了されました。なお、次に講演等の趣旨を掲載いたします。

講演 『子どもをとりまく地域の力』

長谷川 幸介氏 (茨城大学生涯教育研究センター准教授)

社会化(人は一人では生きられない、その人間がどうやって生きていくかの手段)という中に、子供達は、雨の日も風の日も、三角形(家庭・地域・学校)のゲートを1年365日、潜り続けるのです。そしてここで、社会化していく力(社会を生き抜く力)を授けられるのです。



長谷川 幸介 氏

私たちは、三角形で子供達に力を授ける。その一つは、もちろん学校です。学校っていうところは1万2千年かけて蓄積した人間が幸せになれ

るように知識や技術を、子供達に『学力』という名前で授けるところです。ここの中心にいるのが教師です。授ける人間です。日々、子供達が社会に出たら力になれるようにと。

もう一つは地域です。地域は学校と違う力を授けるのです。学校と同じように地域が学力を授けようとしたって無理です。それを何かというと『社会力』です。人が人として繋がる力は地域でしか学べないのです。だから、挨拶したり、お爺ちゃん・お婆ちゃんが困っているときにはすぐに助けるとか、そういう人と人が繋がる力、『社会力』です。

御礼

このたびの地域教育フォーラムに
多数の皆様にご出席をいただき、
衷心よりお礼申し上げます。

中北教育事務所一同

人は学力だけではないのです。生きる、幸せになることの条件として、未熟で生まれた人間が幸せになるための技術は、一つは知識や技術で、それを学力としても、どんなに学力としての知識や技術があっても、実際に人と繋がりがなかったらだめなのです。そのことを私たちは「どこでどうやって創っていくか」なのです。



地域には地域の育て方があります。私は、小学校6年生の時、地域行事の反省会で、成人男性と同じ振る舞いをしていました。学校教育の中では、このようなことは当然できることはありません。だけど地域では、「もうすぐ中学生なのだから」と、大人扱いにしてくれることが、当たり前に行われていました。それはそれでいいのです。だけど、学校はそれ(社会の規範)を崩してはだめなのです。しかし、このこと(地域の緩やかさ)がなかったら、人間の発達はもの凄くか細いものになるのです。それが『社会化』です。



航空高・ダンスカンパニー

最後に家庭です。家庭はどんな力を授けるか。確実なのは『自己肯定感』です。「私は愛されているのか」です。子供は親が言った事はやりません、親がしたことを学ぶからです。親がして見せなければだめなのです。かけがえのないものとして、親に守られてきたのだと。子供は、そのことをけなげに考えます。

(中略)

こうやって子供達は、三角形の中を潜りながら、大人になっていくのです。

学校は、三角形で『学力』を育てるのは役割ですが、学校の学力を伸ばすシステムを考えた時に、学校教育とは違う方法も必要です。それと同じように『社会力』を伸ばそうとしたら、学校は、地域に協力して貰うことです。『自己肯定力』を伸ばしたかったら、地域も学校も家庭も相互に協力し合う。それが、本当の三位一体です。全て学校に集まるのが三位一体ではないのです。

実践発表

「子どもと歩む地域の実践」

敷島北小学校おやじの会々長

新津 健 氏

北小のために何かできることは？

学校・家庭・地域が一体とな
ってできることは？

「小さくとも一歩、一歩」
《手弁当でのボランティア》



新津 健 おやじの会々長

第54回 全国社会教育研究大会山梨大会

第43回 関東甲信越静社会教育研究大会

平成24年度 山梨県社会教育研究大会

開催

全国社会教育委員連合会は、本県において全国大会を開催しました。10月24日(水)～26日(金)の日程で、甲府市総合市民会館を主会場に、山梨文学館と“かいてらす”で、1,000人を超える参加者のもと、記念講演会・シンポジウム・分科会を行いました。

また、オープニングのアトラクションとして、「じょいそーらんグループ」による「甲斐◇風林火山」の演舞が披露されました。なお、次のわらいのもと、開催されました。

東日本大震災は、国難とまで言われるほど大規模な被害をもたらしました。被災された皆様の苦難の中にあつて前向きに進んでいこうとしている姿、地域住民自ら復興に取り組む姿、また、被災された方々をさまざまな形で支援しいこうとする人々の姿は人と人とのつながりを強固にし、未曾有の困難のなかでありながら、私達の社会が持っている可能性や大きな希望を感じとることができました。



一方で、都市化・過疎化・高齢化・情報化の波は、地域住民同士の関係を希薄にし、地域の衰退と共に社会教育もまた活力を失い、社会教育で地域の活力を再生し、地域の教育力を再生することがいっそう難しい課題となっています。

しかし、現代社会で希薄になっている人間関係を見直し、人間関係の中で息づく信頼の感情がしっかりと引き継がれ、そして豊かで「継続可能な社会」を構築することによって、強く活気のある地域社会が創造できると信じます。地域住民同士が、一層信頼関係を築き、地域に対する誇りや愛情を持ち、地域のよさを次世代に引き継いでいく、自立した地域社会を形成すること、教育・子育て・まちづくり・福祉・介護等多様な課題に対して、地域住民の様々な体験や知識が共有・継続され、さらに新たな創造・工夫が生み出される、い



いわゆる「**知の循環型社会**」「**継続可能な社会**」を構築することが大切です。

地域に活力を与えるために、今、社会教育にできることは何か。それは私たち自身の手で強い絆をつくり未来に残すことではないのでしょうか。

そこで本大会では、「**地域の絆を深め、活力を生む新しい社会を創る**」の研究主題のもと、全国社会教育委員等、社会教育関係者が一堂に会し、各地域における社会教育活動の実践や研究成果について情報交換を深めこれからの社会教育のあるべき姿、その実現の方策について研究協議を行うことを趣旨といたします。





山梨ことぶき勸学院・大学院 第2回中央ふれあい行事

8月21日(木)に、コラニー文化ホール・大ホールにおいて、勸学院生と大学院生が一堂に会する「中央ふれあい行事」を開催しました。

講演会として、評論家の樋口恵子先生が「人生100年後半が勝負」との演題で講演が行われ、また、異世代交流会として、甲府商業高校のソングリーダー部・マーチングバンド部の演技が披露されました。



甲府商高・ソングリーダー部

第1回青少年社会環境健全化 推進キャンペーン

8月30日(木)に、「青少年が心身ともに健やかに成長できる社会を作り上げていくためには、地域社会全体で青少年の健全育成に取り組んでいく」との趣旨のもと、やまなし青少年社会環境健全化推進協議会と県青少年総合対策本部は、韮崎市・北中市南東部に啓発活動(店舗事業主に啓発ステッカー、リーフレットの配布)を関係者24名で行いました。



第5回子育て支援リーダー養成講座 ＝地域子育て支援交流会＝

山梨県教育委員会は、9月3日・11日・20日に、韮崎市児童センター・韮崎子育て支援センターと県立大学の3会場で、この講座の受講者と現在子育て中のママとの支援・援助を目的とした交流会が行われました。この会は、中北地区の受講者を3グループに分け、自主的に会を運営するものです。第1グループは、未就学児の保護者との意見交換会、第2グループは、松本恵子先生を講師に招き、「あそぼ、あそぼ、親子であそぼ」をテーマにワークショップを行いました。第3グループは、参加型「親子でからだあそび」を行いました。



第1G



第2G



第3G

平成24年度 『中北.com』 No.4

編集・発行
中北教育事務所 地域教育支援担当

〒407-0024 韮崎市本町4-2-4
電話 0551-23-3046
ファックス 0551-23-3013

『中北.com』は中北教育事務所のホームページでもご覧になれます。
アドレスは次のとおりです。 <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ch/index.html>